

各グループの作品をしょうかいします（1.つくったもの 2.工夫したこと）



グループ 1

1. 公園・図書館・スーパーとコンビニ・ホテル・マンションと住宅街など
2. 公園の池には石を置き、渡って遊べるようにした。家の種類を変え、同じ形にならないようにした。飲食店に気軽に立ち寄れるよう、ドライブスルーを作った



グループ 2

1. キャンプ場・温泉・図書館・アイス屋・商店街など
2. キャンプ場には木を多く植え、自然を生かせるようにした。商店街のお店は等間隔に並べ、きれいなまちなみを目指した



グループ 3

1. シンボルタワー・屋外フードコート・図書館・イベントステージ・歩道橋など
2. フードコートに屋根を付け、雨でも利用できるようにした。駅を囲む歩道橋から、いろいろな施設に行けるようにした



グループ 4

1. シンボルツリーと噴水・レストラン・スーパーと本屋・ホテル・図書館など
2. ホテル客室と商店の窓はシンボルツリーが見える方に付けた。図書館には温かみのある木材を使った



講師 村山賢哉教授(共愛学園前橋国際大学国際社会学部長)



マイクラフト初心者の子が多く、舞台も広がったので大変だと思いましたが、自分なりの技術を使って進めてくれたので、逆に「こんなこともできるんだ」と驚く場面もありました。こうやって、自分たちの街のことを考えて、地元愛をはぐくみ、これからも群馬・安中を好きでいてくれるのが一番だと思います。

担当(都市計画課) コメント

今回のイベントでは、駅の周りに「あんな店や建物があつたらいいな」、「こんな場所があつたら行ってみたい」など楽しそうに話し合いながら、作品に取り組む姿が印象的でした。

テーマや色合い、素材にこだわり、調和した街になるよう工夫した意見も多く、発表作品は今後の景観まちづくりに活用していきます。すてきな景観の安中市を一緒につくっていきましょう。